

【平成28年12月14日（水）開催分】

説明会 開催 結果	開 催 日 時	平成28年12月14日（水）19：30～20：47
	開 催 場 所	会場の名称 座間市公民館集会室 会場の所在地 座間市入谷 1 - 3097
	参 加 人 員	参加人員 6人
	事業者側の主な出席者	厚木市(まちづくり計画部都市計画課、環境農政部環境施設担当) 厚木愛甲環境施設組合【説明者】
	説明会の経過及び概要	19：30 開会 ・代表者挨拶 ・関係者紹介 19：35 環境影響予測評価実施計画書の概要説明 (パワーポイントにより約30分説明) 20：10 質疑応答 (主な質問・要望と回答は下記のとおり) 20：47 閉会

主な質問・要望	回 答
大気質の調査地点について、風向に合せた場所を選定しなかった理由は。	県の環境影響評価技術指針に基づいて、一般的な考えのもと調査地点を設定しております。
既存施設の処理能力は、何 t なのか。	厚木市環境センターの焼却炉は 327t で 109t の炉が 3 炉あります。
850 度以上で燃焼するとダイオキシンは発生しないと聞いているが、それ以下になった場合は発生するのではないか。	基本的には、燃焼が続いている限り 850 を下回るといったことはないということです。
温室効果ガスの削減方法は検討しているのか。	厚木市は平成 21 年度から「ミッション 35」として、ごみの減量化と資源化に取り組んできました。平成 14 年度のごみ量に対して 26%削減し、資源化については家庭ごみを 34%まで資源化することができており、温室効果ガスの削減に努めています。
施設の耐用年数はどのくらいなのか。	環境省の考えでは、概ね 20 年で大規模な修繕が必要としています。
現在の処理場はどうするのか。ダイオキシンは発生するのではないか。	現在の処理場は取り壊します。現在の施設は、平成 10 年～13 年にダイオキシンに関する対策工事を行っており、新施設の利用が始まるまで、補修工事を行いながら運転していきます。 現在の大気中のダイオキシン濃度は平成 10 年と比べて 10 分の 1 程度に下がっています。
平成26年度の神奈川県資料によると、ダイオキシン発生量は、平成 9 年と平成24年を比較すると70分の 1 となっており合っていない。	大気中のダイオキシン濃度は、平成 10 年と比べて 10 分の 1 程度といった内容の出典は、2012 年環境省資料の平成 10 年度の全国平均値です。
既設施設が稼働してきたことについて、実施計画書には考慮されているのか。	現環境センターの影響も含めた現況を把握した上で、新しい施設の影響について予測します。調査結果は、環境基準・規制基準等に整合が取れているか、事業者が実施可能な範囲内で環境に対する負荷を低減・回避しているか、2つの視点で評価を行います。
地盤沈下について、地下水は利用するのか。	非常時に使用する程度です。

主な質問・要望	回 答
<p>余熱利用についてはどのようにするのか。</p>	<p>現状はプールに活用しております。その他は熱エネルギーを発電として利用しています。</p>
<p>座間市の自治会にも開催をアナウンスしてほしい。</p>	<p>自治会のポストはないものと思われるので、直接、お知らせは行かないと思いますが、お知らせの範囲内に自治会の方がお住まいであれば、お知らせのチラシがポスティングされております。</p>
<p>大規模災害は環境影響評価の対象ではないのですか。 大規模災害があった際の備えはあるのか。</p>	<p>大規模災害は環境影響評価の対象ではありません。また、大規模災害が起きても稼働できるように耐震・耐水の施設とし、地域の防災拠点としても整備していく予定です。</p>
<p>施設の利用ができない座間市、海老名市に影響が出ない地域に設置できないのか。利用しない市町村からしたらデメリットしかない。</p>	<p>ご心配な点があると思いますが、環境基準に適合させた施設ですのでご理解いただきたく思います。</p>